

「江の島紀行(7)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

江の島観光にアクセスする交通手段は多い。小田急の「片瀬江ノ島駅」、江ノ電の「江ノ島駅」、それに湘南モノレールの「湘南江の島駅」である。それぞれ特徴があって面白い。小田急の駅が一番近いが、いずれも片瀬海岸からは徒歩で江の島に渡ることになる。



片瀬海岸から江の島へは、弁天橋という広い人道橋があって、車道と完全に分離されているので安全である。2011年の震災の時は、江の島への橋が津波にのまれる危険があるということで、人も車も通行止めになった。たまたま江の島にいた同僚の一人が、「巨大津波が来る」という情報で、山頂付近の神社境内まで避難して、「恐怖の一夜」を過ごしたと話してくれた。



この弁天橋からは、夕日が美しく見える。雲の間から光芒が筋になって見える「天使のはしご」と呼ばれる現象もよく見られるところだ。(水彩画)



この日はあまり良い天気予報ではなく、雨の中の江の島下見を覚悟していた。しかし日中雨は降らず、思いがけず富士山も見えていた。相模湾越しに見る富士山は久しぶりで、実に美しかった。



しかし油断は禁物だ。何か食べながら休憩はしないほうが良い。トビ(トンビ)に食べ物を奪われることが多いのだ。子どもたちにも注意する必要がある。



江の島には1964年のオリンピックの時の聖火台が残っている。私は一度見ようといつも思っているのだが、つつい江の島神社の参道に向かってしまい、今回も見逃してしまった。残念である。